

外で
遊びたい！

友達を
作りたい！

同じ地域に住んでいる、年齢の違う子どもたちが集まって、一緒に遊んだり、活動をしたりする子ども会。自分たちで考え体験することで、親友をつくり、豊かな心を育んでいきます。
そんな子ども会の活動をサポートしているグループ「シニアリーダーのつどい」があります。
今月号では、リーダーの活動に迫ります。

いろんな
遊びを
したい！

子ども会

シニアリーダーの つどいにおまかせ

楽しい遊びをとおして 友達を作り、心を育む

少子化による子どもの数の減少や、テレビやテレビゲームなどで一人で遊ぶ時間の増加、多様な習い事など。これらの影響から、子どもたちが集まって遊ぶ機会が少なくなっています。そんななか、「シニアリーダーのつどい」は、地域の子ども会で組織された町子ども会連絡協議会(町子連)と連携して、子どもたちが遊ぶ環境を作り出しています。

遊び・仲間づくりのプロ集団 シニアリーダーのつどい

ティア活動に積極的に取り組んでいます。

「シニアリーダーのつどい」は、地域の子ども会活動のお手伝いや、町と連携したイベントの開催、その他のボランティアの開催、その他のボランティア

中学生をジュニアリーダー、高校生以上をシニアリーダーと呼び、現在28人のリーダーが所属しています。子どもたちが、集団での活

動をとおして協調性や創造性を養い、豊かな心を育めるよう、地域で活躍しています。

キャラバン活動で 子どもたちの集団活動の場を

地域の子ども会の依頼に応じて、リーダーが伺います。子どもたちが興味を持って遊ぶことができる行事の企画を一緒に考え、子どもたちが楽しめるようお手伝いします。

「子どもたちが地域で遊ぶことができる場所を作りたい」という思いから、シニアリーダーが地域の子ども会に出向いてお手伝いをするキャラバン活動が始まり、今

シニアリーダーのつどいは こんな活動をしています

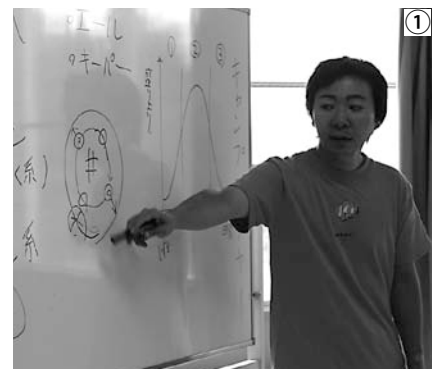
- 地域の子ども会活動のお手伝い(キャラバン活動)
- 小学校へ出前講座
- 曾爾高原宿泊体験学習の指導
- 子どもカーニバル
- 子ども会合同研修など

つまり…

子どもたちが集まって
本気で遊べる環境を
作っています



①②曾爾高原宿泊体験学習の事前研修。説明に力が入ります。シニアリーダーたちは、真剣に話を聞き、メモを取り、本番に備えます。③参加者全員で、2000枚を超える写真を組み合わせて作ったフォトアートの出来は圧巻。(子どもカーニバル) ④リーダーが考えたゲームを子どもたちは思い切り楽しんでいます。(子どもカーニバル)





「おつかれさまです」「こんばんは」とあいさつをしながら続々と集まるリーダーたち。この日は、子ども会合同研修会で使用する教材を作る日。近況報告をするなど、わきあいあいとした雰囲気の中、みんなで楽しみながら準備をすすめています。

に至っています。

子どもたちが安全に遊ぶことができるように気配り

自然のなかでの活動やパーベキューなど危険が伴う行事では、その危険を分かっただけで行動することを子どもたちにアドバイスしながら、事故のない楽しい会になるようにサポートします。

例えば、8月に町が行っている曾爾高原宿泊体験学習では、リーダーが指導者として活動します。自然のなかでの活動なので、事前に現地に行

き、行事の進行や危険個所のチェックなど、必ず打ち合わせを行ってしています。

子ども会の一大イベント
約300人が集まる
子どもカーニバル

11月に町と町子連が行う「子どもカーニバル」。町内の子どもたちが約300人集まって、ゲームを楽しんだり、参加者全員で一つの作品を作ったりするビッグイベントです。この規模で行うイベントは県下では珍しい取り組みです。

リーダーたちは、6月ごろから構想を練り始め、9月ごろから準備を始めます。それぞれの役割を決めて、意見を出し合いながら準備を行っていきます。

リーダーたちは、学生であつたり社会人であつたり、みんな忙しい毎日を送っています。そのなかで、自分が打ち合わせに参加できる日を調整しながら、子どもたちが楽しんでくれるゲームを考えていきます。

こうして練りに練られた子どもカーニバルは、昨年で37回目を迎えました。

生の声

2012年の曾爾高原宿泊体験学習で、小学生が感じたこと

リーダーになつたら楽しいよつて言われたからやるつかない。

ハイキングは、しんどかつたけど上に行くほど風がふいてきて気持ちよかつた。

新しい友達ができ、仲良くできてよかつた。

みんなと協力してやったのがたのしかつた。

田原本では見れないきれいな星が見れた。

班に友達がいなかつたけど楽しかつた。

最後の曾爾高原宿泊体験学習なので、とてもいい思い出ができました。

子どもたちは自然のなかで、一つ成長した。



シニアリーダー(高校2年生)

杉本あゆみさん(薬王寺)

Sugimoto Ayumi

小 学校5年生のとき
に、初めて曾爾の
宿泊体験に参加しました。
キャンプファイヤーとか
普段の生活ではできない
ような活動ができて楽し
かったです。
このときに、子ども会
リーダーの皆さんの活動
を見て、私もやってみた
いなと思っただけです。も
ともと目立ちたがりなと
ころがあつて、人前で何
かやってみたかったので、
リーダーになりました。
子ども会のリーダー活
動をやってみると、小学
校への出前活動や子ども
カーニバルなど、私が知
らないイベントがたくさん
あつて驚きました。

責任を感じるけど、子どもたちの笑顔は最高

曾爾の宿泊体験と子ど
もカーニバルには毎年、
参加しています。
私が中学生のころは、
子どもと遊ぶ、子どもの
気配を感じ取り話しかけ
るなど、子どもとうまく
接することを学びました。
去年の子どもカーニバ
ルでは、ゲームの企画を
して、事前にゲームの説
明を保護者の皆さんに行
いました。ゲームの内容
を決めたり、保護者の皆
さんの前で話をしたりす
るのは、正直言うとう責
任を感じます。
でも、いろいろな悩んで
企画したゲームで、子ど
もたちが楽しんでる姿
を見ると気分爽快です。

リーダー活動の魅力

現在、シニアリーダーのつどいの会長を務める藤丸彩香さんと、リーダー活動5年目のシニアリーダー杉本あゆみさんに、リーダー活動を始めたきっかけや、経験して学んだこと、工夫していることなどを聞きました。



シニアリーダーのつどいのユニフォーム

高 校3年生のときで
した。忙しく過ご
していた高校生活に余裕
が出てきたので、「そう
いえば子どもカーニバル
の準備はどうなったんだ
ろう」とふと思ひ、連絡
を取りました。行ってみ
ると、リーダーが2人し
かいなかったんです。
どうにかしないといけ
ないと思ひ、友達を誘ひ、
6人で活動を始めました。
会長の役を担うことにな
ったものの、打ち合わ
せの方法など分からない
ことだらけ。失敗しなが
らも手探りで最初の一年
を乗り切りました。
それから、やってきた
ことを1年ごとにファイ

子どもたちが笑顔で本気で遊べる場所を

ルに閉じて、ノウハウを
残しています。
ほかに、リーダーが
楽しめるように、生活の
優先順位を、まず家族、
それから学業、活動とし
ていて、活動に気軽に参
加し、楽しめる環境づく
りをしています。
遊びをとおして「年上
の子どもは年下の子ども
に教える」「年下の子ども
もは年上の子どもを敬
う」ようになり、コミュニ
ケーション能力が身に
つき、集団での生活に慣
れていきます。
だから、子どもが集
まって、本気で遊ぶこと
ができる場所は絶対に必
要だと思ひます。



シニアリーダーのつどい会長

藤丸彩香さん(八尾)

Fujimaru Sayaka

親も一緒に becoming 地域で 子ども集団活動の場を

現在、町子連の会長を務める安田章男さんは、昭和42年に同会が設立されて以来、ずっと子ども会の活動に取り組んでいます。シニアリーダーに期待することや、子どもを取り巻く環境で感じることを見聞しました。

本町の子ども会は、リーダー中心で活動をしてきた形が40数年ずっと続いており、子どもによる子ども会が実践できています。

リーダーは、子ども会の活動に企画から参加します。リーダーになると、子どもたちに教える力や仲間をひっぱる力など、自身が社会に出たときに役立つ能力が身につきます。

ところが、近年では子ども会の数やリーダーの数が減少傾向にあります。塾や習い事で忙しい子どもが増えるとともに、親も仕事で忙しく、家族間の絆や地域間の絆がますます希薄化しているように感

じています。

毎年、田原本町青少年健全育成協議会が、地域ぐるみで子どもたちの育成に取り組む推進地区を選定されています。私たち町子連も協力団体として参加させていただいています。1年間で地域一体となっ

て活動された形を継続していくことが理想的な形だと思えます。

親も子どもと一緒に becoming 楽しんで、子どもたちにいるような経験を見せてあげられるようにするのが私たち町子連の使命です。



町子ども会連絡協議会会長
安田章男さん (味間)

Yasuda AKio

伝言板

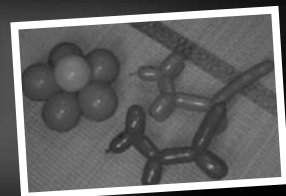


キャラバン活動 シニアリーダーが伺います

リーダー大募集！

子どもが大好きで、本気で子どもと遊びたい人、ボランティア活動に興味がある人、大募集！
中学生、高校生、大学生が対象です。
まずは見学からスタートしてみませんか。
必要なものは子ども心と遊び心です。

子どもたちが本気で遊べる環境を作ってみませんか。
私たちがお手伝いします。
シニアリーダーの日程が合う限り伺います。
内容は、バルーンやクラフト(工作)などです。
まずは、ご相談ください。



お申し込みは、生涯教育課 (青垣生涯学習センター内) ☎32-6193 へ。